

地域のことをみんなで話し合い、協力・連携して取り組んでいくために

私たちを取り巻く環境は少子高齢化や近隣関係の希薄化など大きく変化しており、地域のニーズや課題も多様で複雑なものとなってきています。このような状況の中、子どもの見守り活動や自主防災活動など地域コミュニティの自主的な活動が、ますます大切になっています。

一方、地域では・・・(市民意見交換会等でのご意見から)

地域の組織が多く、同じ人が掛け持ちで役員をしているのが現状。特定の人に負担がかかる。

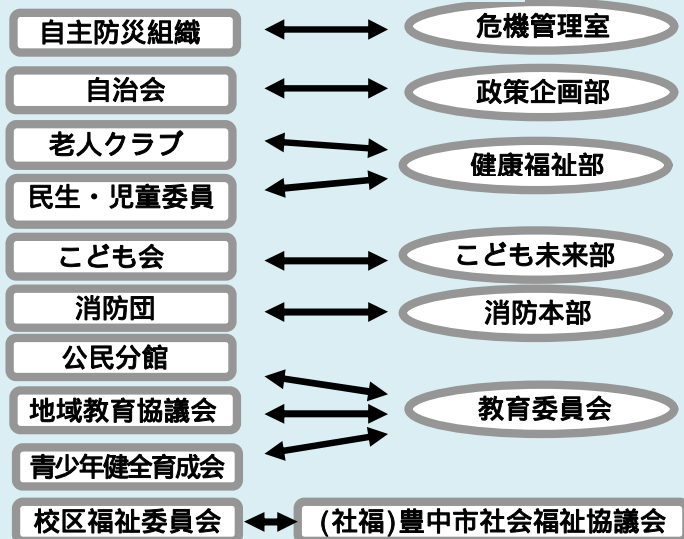
自治会・公民分館・校区福祉委員会が独立して活動していて、横の連携がうまくいかない。

地域の色々な団体が一堂に会する場や仕組みや地域のまとめ役が必要では？

行政からの補助金は、他の支出に流用できない、翌年に繰り越せないなど、使いにくい！

これまで行き当たりばったりで色々な組織ができ、ふたを開ければ活動内容は同じ。どうにかならないか？

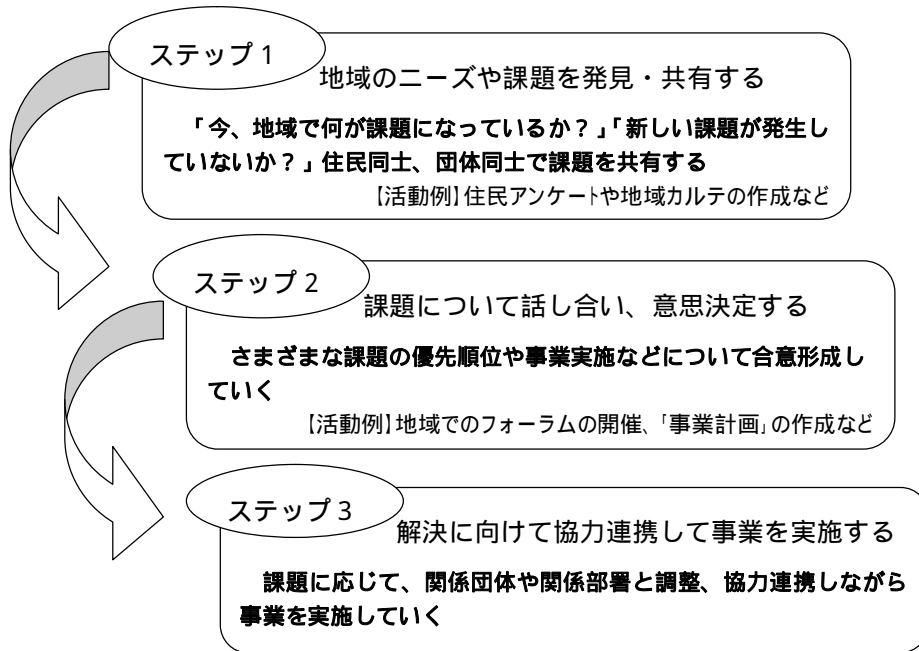
[参考：地域団体(一部)と行政所管部局]



こうした背景・現状をうけて、豊中市は、自主的な地域活動を活発に展開できるような環境を整え、「**地域の問題について地域で話し合い、地域のごことは地域で決める、いろいろな団体が連携し解決に向けて取り組んでいく**」ために必要な地域と行政双方にしくみについて、平成 21 年度から 2 力年かけて重点的に検討していきたいと考えています。

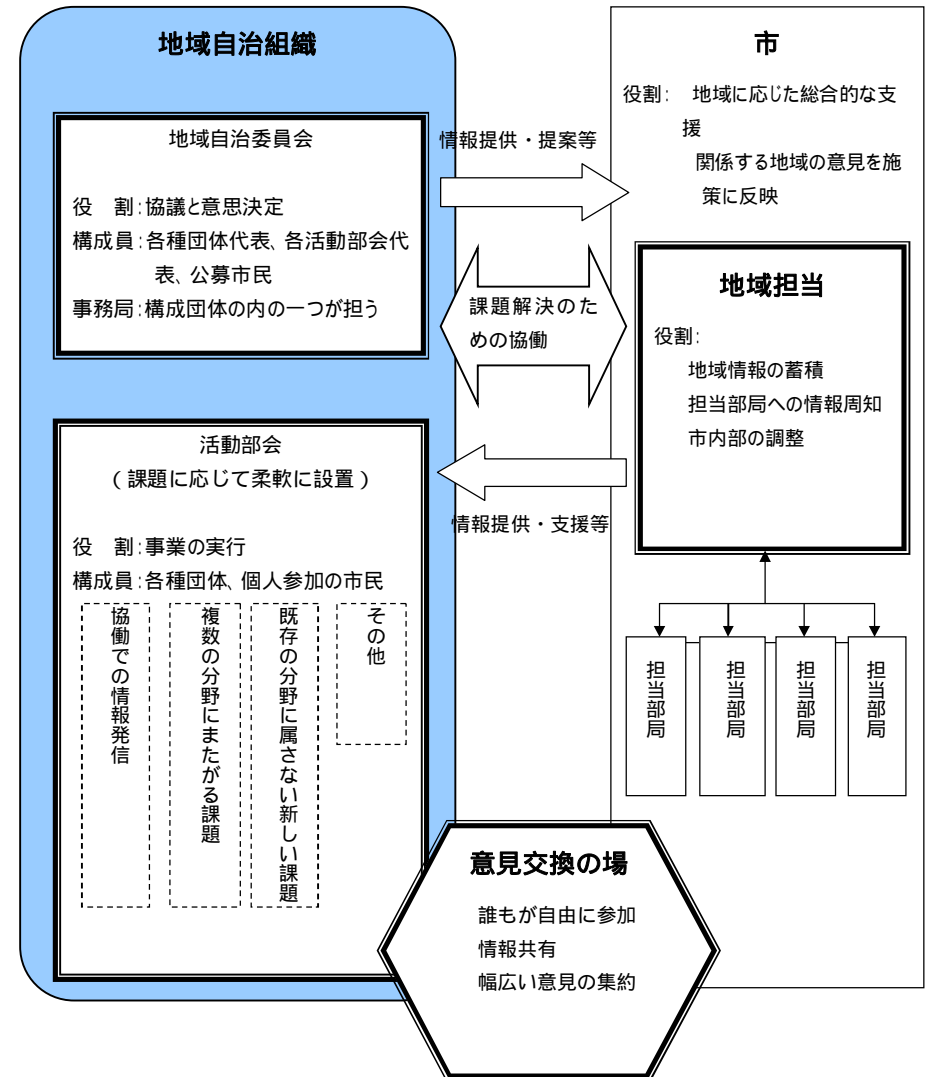
地域の安全、福祉、環境その他さまざまな課題について地域で話し合い、 いろいろな団体が協力・連携し解決に向けて取り組んでいく(=「地域自治」)ために、必要な仕組みや支援は？

「地域自治」の具体的な活動イメージ

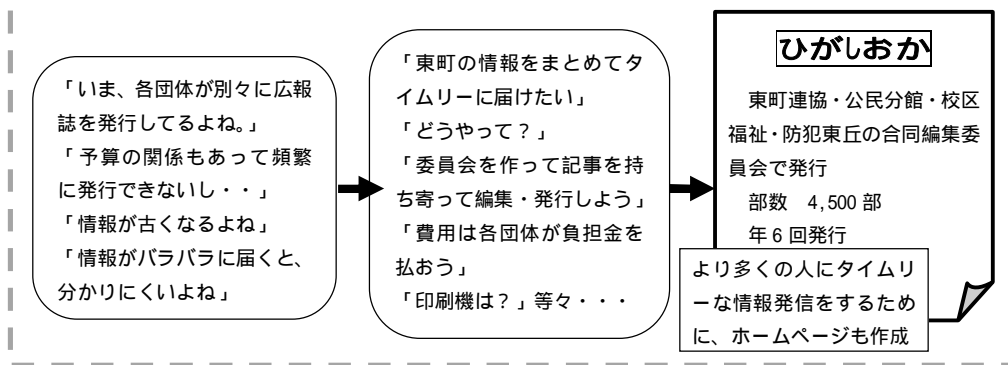


このような活動を地域で実施していくために・・・

「地域自治」の仕組みのイメージ(たたき台)



たとえば、新千里東町では・・・



このような仕組みについて、地域の皆さんと
ともに考え、つくっていくために・・・

地域特性を考慮した豊中スタイルの地域自治の仕組み（「地域自治システム」と呼んでいます）
をつくるため、行政素案に対して新千里東町のみなさんと意見交換をしながら、地域自治システ
ムの調査検討や制度設計をしていきたいと考えています。（「地域フィールドワーク」と呼んでい
ます）

【平成 21 年度実施内容及びスケジュール】

時期	検討項目	備 考
9 月 19 日	地域自治組織のあり方 について	～使いやすく柔軟性のある枠組に～ 東丘校区の活動や組織運営の実態と行政素案を重ね合わせるにより、 実効性が持てるか、柔軟な制度運用が可能かを点検
11 月中旬	地域と行政の役割分担 について	～地域自治組織の権限を明らかに～ 望ましいあり方や現状からみた課題について行政素案をもとに意見交換
1 月下旬	行政の支援策について	～地域ニーズに沿ったあり方に～ 行政の支援策及び行政組織のあり方について、行政素案をもとに意見交換

【進め方】

